

10 月イベント情報

だっこのおはなし会 図書館スタッフ

0歳からの乳幼児向けおはなし会を行います。

プレパパ、プレママもご参加ください。

日 時 ①10月2日(木) ②10月16日(木) ③10月23日(木)

いずれも午前10時30分～

場 所 ①②3階図書館おはなし広場

③古北にじいろ会館 2階図書・学習室

対象者 乳幼児

その他 10月16日(木)のだっこのおはなし会の前後(各1時間)で
7か月から3歳児を対象に無料託児サービス(申込先着順)を行います。
申し込みは10月1日(水)～10日(金)に電話または直接図書館へ。

秋のおはなし会

絵本や紙芝居などの読み聞かせを行います。

日 時 10月4日(土) 午後3時～

場 所 3階図書館おはなし広場

朗読者 よみっこクラブ

対象者 幼児・小学校低学年

世界の紙芝居

外国の昔話を外国の言葉で楽しめます。

日 時 10月11日(土) 午後3時～

場 所 3階図書館おはなし広場

朗読者 江南市国際交流協会「ふくらの家」

対象者 幼児以上(大人も参加可)

みんなでブックトーク「今まで全く読んだことの無い本」

いつもと違う本を読んで、何を感じたか語り合いましょう。

日 時 10月12日(日) 午後2時～

場 所 4階図書館グループ学習室

運 営 江南ブッククラブ

対象者 18歳以上

定 員 10人(当日先着順)

子ども向けアニメ上映会「ふしぎ駄菓子屋 銭天堂」

幸運な人だけがたどりつける、ふしぎな駄菓子屋「銭天堂」。

型抜き人魚グミ、猛獣ビスケットなど全10話を上映します。

日 時 10月12日(日) 午後2時～

場 所 3階図書館イベントホール

対象者 幼児、小学生とその保護者

定 員 40人(当日先着順)

江南あおむしの会「絵本を楽しむ会」

絵本作家「いせひでこ」を特集します。

日 時 10月18日(土) 午前10時～

場 所 4階図書館グループ学習室

運 営 江南あおむしの会

対象者 18歳以上

定 員 10人(当日先着順)

耳で楽しむ読書体験！ストーリーテリング

絵本や紙芝居などを使わないおはなし会を行います。

日 時 10月18日(土) 午後3時～

場 所 3階図書館イベントホール

語り手 ストーリーテリングの会 江南おはなしのろうそく

対象者 5歳以上(大人も参加可)

手づくりのおはなし会 図書館スタッフ

絵本の読み聞かせと簡単な折り紙工作を行います。

日 時 10月19日(日) 午後3時～

場 所 3階図書館おはなし広場

対象者 幼児、小学校低学年

英語でのおはなし会

英語の絵本の読み聞かせとゲームを行います。

日 時 10月25日(土) 午後3時30分～

場 所 3階図書館おはなし広場

朗読者 ティンカーベル

対象者 幼児、小学生

キャッシュレス時代のいまこそ見直したい！

プロが教える家計管理のしかた

キャッシュレス時代、支出が見えにくくなる今こそ家計の見直しを。
独身、子育て、老後まで、全ライフステージに役立つ家計管理を
学べる講座です。

日 時 10月26日(日) 午前10時～

場 所 3階図書館イベントホール

講 師 藤木誠也(J-FLEC認定アドバイザー)

定 員 50人(当日先着順)

持ち物 筆記用具、電卓(スマホ可)

申 込 10月11日(土)～19日(日)に電話または直接図書館へ。

ハロウィン「ワクワクドキドキパーティー」

ハロウィンの飾り作りやお菓子(工作品)取り、
仮装して写真撮影などを楽しみます。

日 時 10月26日(日) ①午後1時～ ②午後2時～

場 所 3階図書館おはなし広場

講 師 江南ライブラリーサポーターズ

対象者 幼児、小学生

定 員 各回30人(当日先着順)

おはなし会with 工作教室 図書館スタッフ

おはなし会と工作教室を行います。

日 時 10月26日(日) 午後3時～

場 所 古北にじいろ会館 2階集会室

対象者 幼児、小学校低学年

定 員 5人(当日先着順)

11 月イベント情報

ぬいぐるみのおとまり会

ぬいぐるみと一緒におはなし会に参加した後、寝かしつけをします。
夜の図書館で本を読んで過ごしているぬいぐるみの様子を写真に撮って
プレゼントします。

日 時 11月1日(土) 午後3時30分～

場 所 3階図書館おはなし広場

対象者 小学生以下

参加条件 おはなし会に参加し、11月2日(日)正午～3日(月・祝)
閉館までにぬいぐるみを迎えに来られる方。

ぬいぐるみの大きさは座位が50cm未満のもの。

定 員 10体(抽選。当選者のみはがきを発送します)

申 込 10月11日(土)～19日(日)に電話または直接図書館へ。

昭和 100 年特集 読書週間(10/27～11/9)

10 月イベント情報

2025 年・第79回 「こころとあたまの、深呼吸。」
「読書週間」 標語

読書週間とは？

終戦の2年後の1947年(昭和22年)、「読書の力によって、平和な文化国家を創ろう」と決意
をひとつに、出版社、取次会社、書店と公共図書館が力を合わせ、さらに新聞・放送のマスコミ
機関の協力のもとに、第1回「読書週間」が開催されました。

それから約80年、「読書週間」は国民的行事として定着し、日本は世界有数の「本を読む国民」
の国となりました。その一方、物質生活の豊かさに比べ精神生活の低迷が問題視されている
昨今、論理的思考の基礎となる読書の重要性は、ますます高まってきています。

出典：公益社団法人 読書推進運動協議会のホームページより
(<http://www.dokusyo.or.jp/>)

2025・第79回 読書週間
10/27～11/9

こころとあたまの、
深呼吸。



図書館からのお知らせ

- 館内整理のため、毎月第2・第4木曜日がお休みになります。10月は9日(木)・23日(木)です。
※学習室はご利用いただけます。休館日のご利用時間は9:30～17:30です。
- 本は大切に扱ってくださいようお願いいたします。
破れた時はカウンターにお申し出ください。図書館で修理いたします。
※多くの方にご利用頂くために書き込み・切り取りはしないようお願いいたします。
- DVD 等視聴覚資料の取扱いは慎重をお願いいたします。
弁償となった場合は著作権分が市販価格に上乗せとなり、高額となる場合がございます。
- 申込の際にいただいた個人情報については図書館運営に必要な範囲で利用させていただきます。

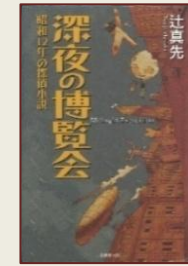


特集 昭和百年

二〇二五年は昭和元年から数えて
ちょうど一〇〇年目。
昭和を感じる本、集めました。

物語で感じる昭和

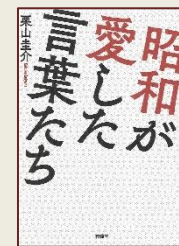
▼『深夜の博覧会』
辻真先／著
東京創元社 (913 ツ)



昭和十二年、煌びやかな名古屋の博覧会の開催中に起こった殺人事件。名古屋にいた女性の足だけが東京で発見された!? 同時に被害者の妹も何者かに誘拐され……。不可解な謎を、若き日の那珂一兵はどんな推理で解くのか？

言葉で感じる昭和

▼『昭和が愛した言葉たち』
栗山圭介／著
有隣堂 (814.7 ク)



『海は忘れない』▲
村上しいこ／著
小学館 (T913.6 ム)

高校2年生の遙瑠は、昭和三十三年にタイムスリップし、「浜口晴子」という少女になっていた。遙瑠にとっては歴史上のこゝろだった「戦争」は、普通に生きる人々を巻き込み、その傷跡は決して癒えることがないもので……。

— 古き良きアイテムたち —

▲『古き良きアンティーク文房具の世界』
たいみち／著
誠文堂新光社 (589.7)



▲『ニッポン制服クロニクル』
森伸之／監修
内田静枝／編
河出書房新社 (383.1 ニ)

『町田忍の懐かしの昭和家電百科』
町田忍／著
ウェッジ (545.8 マ)



昭和ならではのユルさと驚異のバラエティ感！ビッグワンガム、ギャグメイト、ビックリマンチョコなどお菓子を中心とした商品に付いていた、ユニークで面白すぎる「おまけ」の数々を紹介する。

▼『日本懐かしおまけ大全』
辰巳出版 (759)



『懐かしいお菓子』▶
伴田良輔／著 今村規子／著
山岸吉郎／著 河西見佳／著
新潮社刊 (588.3)



◀『全集伝え継ぐ日本の家庭料理[1]』
日本調理科学会／企画・編集
農山漁村文化協会 (596.21)



▼『喫茶店の本』
びあ株式会社中部支社 (596.7 キ)



連綿と続く歴史と文化が息づく東海クラシック喫茶、喫茶名物セレクション、昭和ムードを今に伝える喫茶店、東海モーニング＆ランチ案内などを収録。※情報は2021年発行時のものです。

懐かしの風景

▼『音声と写真でよみがえる昭和 戦前編』
保阪正康／著
村島章恵／聞き手
NHK 出版 (210.7 ホ)



NHKに残る貴重な音声をQRコードで聴き、貴重な写真やイラストを見ながら、昭和の歴史を追体験する。戦前編は、震災復興と金融恐慌から日米開戦までを収録。



◀『まちの個性派映画館』
美木麻穂／著
パイインターナショナル (778.0 ミ)



『昭和100年懐かしの情景』▶
南正時／著
双葉社 (210.7 ミ)

▼『鉄道がつなぐ昭和100年史』
小川裕夫／著
ビジネス社 (686.2 オ)



『昭和100年地図帳』▶
平凡社／編
平凡社 (210.7 シ)



▼『昭和の大型トラックとトレーラー』
静遙／著
世界文化ワンダーグループ (537.9 シ)



おばあちゃんの家、銭湯、映画館……。昭和を彩ったなつかしいタイルの8割が、岐阜県多治見市笠原町で作られていた。色とりどりのタイルを生み出した笠原町と、いまも笠原タイルを貼った建物がのこる全国の街町を訪ねる。



『昭和レコード超画文報 1000枚』
チャッピー加藤／[著]
303BOOKS (767.8 チ)



◀『昭和100年の100人 スタア篇』
文藝春秋 (281.0 シ)



『流行歌で振り返る昭和100年』
合田道人／著
笠間書院 (767.8 コ)



西城秀樹、志村けん、松田優作、木希林……。温泉宿の主人や女将たちだけが垣間見た、今も日本人の心に生き続ける昭和を彩ったスターの素顔を伝える。



▼『宿帳が語る昭和100年』
山崎まゆみ／著
潮出版社 (291.0 ヤ)

昭和を彩ったスタアたち

大好きだったあの味に
再会!?